

2020年度PF SAXS-UG会議 2021.4.2 zoomによる遠隔 15:00-

議題

1. 2020年第2-3期の運転の総括、BL情報
2. 2021期の運転予定・手続き上の注意事項、BL情報
3. 課題責任者・ユーザからの提案事項や質疑
4. その他

今回の会合の目的について

- 1) SAXS 2020年度に関する情報の共有
 - A 運営側からの現状および課題、提案
 - B ユーザ側からの提案や意見、課題
- 2) 2021年度のビームタイムの注意事項など
 - A 実験手順に関する注意事項(事前、対コロナ、その他)
 - B 出張/リモートにおける注意事項
 - C その他(感染疑い時、判明時の手続きなど)
- 3) PFシンポでの情報共有と議論
 - A PF-PACの分類変更など
 - B 将来計画に関連して: BLスクラップ&ビルド、次期計画その他

0.幹事会体制（2020.9の再掲）

- 3月のUGミーティング提出予定事項

UG規程(幹事会での推薦/承認)

代表： 奥田浩司(京大工)金属

櫻井先生は幹事に留任

副代表： 上久保裕生(奈良先端大) 生命・生物

山本勝宏 (名工大) ソフトマター ← PF-UA広報幹事

- * 幹事(2019からの継続5名、新規1名)

菱田真史(筑波大)脂質 小川紘樹(京大化研)高分子

小田隆(立教大)生命・生物 井上倫太郎(京大複合研)生命生物

石毛亮平(東工大)高分子 森田剛(千葉大)ソフトマター

ソフトマター、生命生物、金属、その他 各分野ユーザ数に応じ2名程度まで

川端先生(首都大、ソフトマター)移動により退任

以上 任期2年程度で交代(活動活性化のため多くの方に参加いただく)

[顧問] 平井光博先生、 櫻井伸一先生

2020年4月段階 SAXS(BL6A,10C,15A2)

有効課題数 G94、BINDS25 計119 ユーザー数 約300名

2020年度のBL概要および 2021年度PF運転に関して（清水）

- 施設側からの説明
- BL, Ring状況、2021年度運転予定など。

蔓延防止/緊急事態宣言時の対応:(未定?)

オリンピックは影響するか?

感染者・感染疑いが出た場合の手続きについて

実験手続き

<https://www2.kek.jp/imss/pf/use/procedure/>

- COVID19対応
 - 1) 来所前手続き(特にRIについて厳格に。)2021年度用のonline安全講習は4/5より後に開始
 - 2) 監視員室前に「銀行などにある受付番号札で順番待ち」
 - 3) 個人ごとのRI安全教育(ビデオの代わり)必要。(専用タブレット貸し出し)
 - 4) カードと線量計受け取り
- 入構手続き: HP参照
 - 1) 来所人数: 必要最低限(2名の限定は解除)
 - 2) 筑波キャンパス入構時に誓約書提出。
 - 3) 一般安全教育は事前受講が必須に。
 - 4) マスクor フェースシールド着用(個室以外)

PFシンポジウムに関して

- 2021年3月オンライン開催。
- UA規約の英語表示
次期会長(東大高橋先生)と2020/11月～運営委員選挙
→委員 平井先生、奥田 幹事:上野先生、山本先生
- PACグループの再編成など
- 将来計画(KEK-LSとハイブリッドリング)
- 当座の増強や変更点
 - * Q-Magの電源強化:輝度Max3倍を目指す
 - * PF課題としてPF-G課題(BL担当者+ユーザの開拓的課題:P課題の予備実験廃止の代替)創設
 - * PFの安全/RI講習の事前化(Online←2021.4からの具体的手続き)

SAXS-UG規程、UG更新について

- PFのUA規程に関する提案(@PFシンポ)への対応

(規程の英訳を作る) → 一部英訳を外部委託で実施。

背景; UA役員選挙で海外(英語)投票の実績があった。→ 規定が日本語だけなのは問題? (SASUGはとりあえずそのまま)

PFUAのスタンス:

一 実ユーザの中で非日本語ユーザの割合が一定数になったら本格的に考える。とりあえずはメインの部分のみ英訳を業者に依頼する。規約の変更ではなく、表現方法のバリエーションなので総会での承認は現段階では不要という立場

→ SAXS-UAは? 海外グループのコンタクトの現状?

- 2021年度 SAXS-UGのUG更新手続きの年。

→ 基本的には現在の活発な研究活動が継続発展できるように更新する、というスタンスでよいと思いますが、そのアピールや今後の方向性という観点から研究会をOnlineで開くのもよいかと。

将来計画関連

1. BLのスクラップ&ビルドに関する委員会(清水
→PF内部の各分野から)

「これまでできていたことができなくなる、というやり方は極力避けたうえで、新しいものを」(船守)

2. 将来計画(リング)

→ 船守先生(PFシンポ) --聴講されてた方

ただし、まだ具体的(明確)な方向が検討される段階ではなく、進行状況に応じて情報提供をいただく。

ユーザーからの提案・要望事項など

- 活動内容
- 研究会 → 次の締め切り？
- 講習会

質疑

-